

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鹿児島県

行事名称	霧島神宮消防訓練
実施期間・日時	令和2年1月28日(火) 午前10時30分～午前11時30分
実施場所	霧島神宮本殿および境内（鹿児島県霧島市霧島田口2608-5）
主催者	霧島神宮

■実施内容

訓練の想定

霧島神宮拝殿西側より出火と想定。火災発見直後に火災報知機を鳴らし、初期消火を試みるが失敗。消防車到着までの間、職員による消火栓からの放水消火活動・境内の安全を保つ。

訓練の内容

御神体遷座、参拝者避難誘導、負傷者搬送、自衛放水消火活動、消防車による放水、消火器による消火訓練

参加者及び役割分担

霧島神宮職員（37名）：初期消火、119番他通報、自衛放水消火活動、参拝者の避難誘導、貴重品の搬出移動
 霧島北消防署 霧島分遣所（10名）：訓練指導、消防車（はしご車）の出動、放水訓練、全体総評
 各分団（霧島・田口・中央・永水）（23名）：消火栓利用による放水訓練
 霧島市役所・教育委員会：現場立会 保育園・参拝者：見学

特に工夫した点

文化財防火デーにあわせ、消防設備点検を行った。また、火災報知機等の電気配線の取替え修理を行った。
 霧島分遣所と打合せを行い、消防車の経路等の再確認を行った。
 昨年の反省を活かして消防車や救急車の経路を変更した。
 昨年度新規に設置された消火栓（埋没式）の消防団の利用、使用頻度の少ない小河川を利用し放水訓練を行った。

問題点・課題

本年は、職員の連携もよくとることができて、訓練実施の時間が短縮できたが、例年に比べ一斉放水時の水圧が弱く、湧水利用のじか水道のタンク等の再点検の必要、及び非常時の水路確保が日地用である再認識した。
 当日は例年よりも参詣者が多く、誘導案内の重要性を再認識した。

その他

毎年、文化財防火デーに伴い防災訓練を行うことで、職員一同が文化財保持者であることを意識し、非常時には職員全員、地域、消防等が一体となって防災防火活動ができるように継続が重要である。

訓練風景



職員による自衛放水訓練



消防によるクレーン車を利用した消防訓練